

平成 24 年 8 月 9 日

8 月定例所長会見における横村所長挨拶内容

○ 所長の横村でございます。

○ 福島第一原子力発電所の事故により、福島県の皆さま、新潟県の皆さま、そして広く社会の皆さまに、今なおご心配とご迷惑をおかけしておりますことを、あらためてお詫び申し上げます。

○ 当社は、先月下旬に電気料金の値上げについて、経済産業大臣より認可をいただき、また、公的資金による 1 兆円の出資をいただいたところです。

当社は、被害を受けられた皆さまへの賠償、着実な廃止措置、電力の安定供給の確保という 3 つの課題を達成するために、最大限の努力をしております。柏崎刈羽原子力発電所においては、引き続き発電所の安全性や信頼性の更なる向上に向け、全力で取り組んでまいります。

また、ご案内のとおり、当社は 6 月 20 日に福島第一原子力発電所の事故に対する調査・検証結果を公表しております。

現在、より一層の安全性・信頼性の向上に向けて、報告書にて取りまとめた対策を当発電所において着実に具体化する取り組みを進めているところです。

その後、国会や政府による事故調査報告が取りまとめられておりますので、私どもの報告書との違いは何か、追加すべき事項はないか調査・検討を行い、引き続きしっかりと安全対策に取り組んでまいり所存です。

○ 次に当発電所の状況についてです。

現在、全 7 基が定期検査中ですが、今年定期検査に入った 5 号機、6 号機につきましては、定期検査中に確認された不適合の対応等に引き続き取り組んでいるところです。

津波への対応を含む発電所の安全対策の状況についてですが、防潮堤につきまして

は、現在、1号機から4号機側において、引き続き基礎杭の打ち込みや擁壁部鉄筋の組み上げ、擁壁部のコンクリートの打設作業を進めており、工事進捗率は約5割となっております。5号機から7号機側におけるセメント改良土による盛り土の築堤作業は終盤を迎えており、築堤本体につきましては今月中にも完成する見通しです。今後、表面保護工事を含む、周辺整備について年度内を目途に進めてまいります。

その他の工事のうち、原子炉建屋トップベント設備は、先月下旬より2号機の工事を開始しており、これをもって全号機で工事に着手したことになります。1, 5, 6, 7号機の4プラントについてはすでに設置を完了しております。

今後も、安全を最優先に着実に工事を進め、発電所のさらなる安全性の向上に努めてまいります。

○ 3点目は、栃木県との連絡体制等に関する覚書の締結についてです。

今年4月に栃木県からご要請をいただき、締結に向けた協議を進めてまいりましたが、このたび、栃木県と当発電所を含む当社の3原子力発電所の安全確保に係る連絡体制等に関する覚書を締結し、8月1日より施行いたしました。

当発電所としては、立地する新潟県内の自治体以外では、今年2月に長野県と締結した「連絡体制に関する覚書」に次いで、2例目となります。

福島第一原子力発電所の事故以降、大変多くの皆さまにご心配とご迷惑をおかけしていることをあらためてお詫び申し上げます。

○ 本日、私からは以上です。

以 上

添付) 柏崎刈羽原子力発電所DATA BOX
プレス公表 (運転保守状況)

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成24年8月)

平成24年8月9日

① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況												補足説明
			9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	
1号機 110万kW (S60.9.18運開)	第16回定期検査中 定検停止期間:H23.8.6~	第15回 H19.5.4~H22.8.4 停止期間 H19.5.4 ~ H22.6.6 (1130日) (原子炉起動H22.5.31)	第16回定期検査による停止												
2号機 110万kW (H2.9.28運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H19.2.19~	第11回 H17.9.3~H18.5.9 停止期間 H17.9.3 ~ H17.12.25 (114日) (原子炉起動H17.12.22)	第12回定期検査による停止												
3号機 110万kW (H5.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H19.9.19~	第9回 H18.5.12~H18.9.15 停止期間 H18.5.12 ~ H18.7.27 (77日) (原子炉起動H18.7.24)	第10回定期検査による停止												
4号機 110万kW (H6.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H20.2.11~	第9回 H18.4.9~H19.1.11 停止期間 H18.4.9 ~ H18.12.14 (250日) (原子炉起動H18.12.11)	第10回定期検査による停止												
5号機 110万kW (H2.4.10運開)	第13回定期検査中 定検停止期間:H24.1.25~	第12回 H18.11.24~H23.2.18 停止期間 H18.11.24 ~ H22.11.25 (1463日) (原子炉起動H22.11.18)	第13回定期検査による停止												
6号機 135.6万kW (H8.11.7運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H24.3.26~	第9回 H22.10.31~H23.3.9 停止期間 H22.10.31 ~ H23.1.26 (88日) (原子炉起動H23.1.23)	第10回定期検査による停止												
7号機 135.6万kW (H9.7.2運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H23.8.23~	第9回 H22.4.18~H22.7.23 停止期間 H22.4.18 ~ H22.6.28 (72日) (原子炉起動H22.6.26)	第10回定期検査による停止												

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

② 発電所設備利用率(%) (7月末現在)

7月	0.0%
24年度累計	0.0%
運転開始後累計	62.2%

③ 発電所発電電力量(万kWh) (7月末現在)

7月	0
24年度累計	0
運転開始後累計	87,487,412

④ ドラム缶発生量(本) (H24年度第1四半期)

当期発生本数	1,525
貯蔵庫累積貯蔵本数	33,202
貯蔵庫保管容量	45,000

⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (H24年度第1四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	13,772
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

⑥ 従業員登録データ(人) (8月1日現在)

		東京電力	協力企業	比率
県内	柏崎市	925	2,411	56%
	刈羽村	90	210	5%
	その他	117	1,124	21%
	小計	1,132	3,745	82%
県外		101	952	18%
合計		1,233	4,697	-
		5,930		100%
協力企業社数(社)		665		

⑦ 来客情報(人) (7月末現在)

	7月	年度累計
地元	717	3,431
県内	874	3,372
県外	1,061	3,457
国外	43	127
合計	2,695	10,387

⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
8月23日	定例の記者説明会
9月13日	次回定例所長会見

インターネットホームページアドレス
<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/index-j.html>

東京電力株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部
 0257-45-3131(代)

プレス公表（運転保守状況）
～中越沖地震関連を除く～

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
①	7月30日	3号機	原子炉建屋東側（屋外）における病人の発生について （区分Ⅲ）	—
②	8月2日	7号機	主排気筒放射線モニタサンプリング配管接続部の不具合について （区分その他）	<p>（事象の発生状況） 平成24年8月1日午前10時30分頃、定期検査中の7号機において、主排気筒放射線モニタサンプリング配管の点検のため現場調査を行っていたところ、当該配管の吸込側配管（直径約30mm）と主排気筒との接続部のボルトが欠落し、接続部に隙間があることを当社社員が確認しました。</p> <p>（安全性、外部への影響） 当該配管（吸込側）は、主排気筒から放出される気体を吸い込み、放射能濃度を測定するためのサンプリング配管であり、外部に比べて常に圧力が低くなっていることから、当該箇所から配管内の空気が外部に漏れることはなく、その後の調査においても、当該箇所から外気の吸引を確認しており、外部への漏れはありませんでした。 一方、当該箇所から外気を吸引した場合、当該配管内の気体が希釈されて放射能濃度の測定に影響を与える可能性があるものの、外観点検の結果、接続部の隙間はわずかであるため、その影響は小さいものと考えております。</p> <p>（対応状況） 応急処置として、当該箇所の隙間については、ビニールによる養生を実施しました。 今後、サンプリング配管の接続部に隙間が発生した原因等について調査を行ってまいります。 また、当該箇所からの外気の吸引による放射能濃度評価への影響についても詳細に評価を行います。</p>